



## ごあいさつ

常務執行役員 大 門 剛  
Okado Tsuyoshi

日頃より、当社製品・サービスをご愛顧賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2023年5月に新型コロナウイルスの感染症法における位置付けが変更されて1年以上が経過しました。世界に目を向けると、高金利、銀行融資基準の厳格化、製造業の減速など、数多くの逆風が吹いたにもかかわらず、世界経済は相応のペースで拡大し続けました。国内においても、物価上昇、円安などの価格面での問題や、労働時間削減などの労働問題も相まって、先の読めない混沌とした状況ですが、製造業は活況な状況です。

当社を取り巻く事業環境は、電力・環境システム事業分野では、「カーボンニュートラル」に向けた再生可能エネルギーの拡大により、電力市場で広域連系投資計画の具体化、電力送配電網の増強、系統用蓄電池の設置による電力需給調整対策など国内電力会社向けの需要が増加しております。また、製造業でも工場建設の増加などに加え、脱炭素の実現を目指した生産システム等の取組み検討も始まっております。ビーム・プラズマ事業分野では、主力のイオン注入装置において、IoT（モノのインターネット）、EV（電気自動車）、SiC（炭化ケイ素）パワー半導体などの積極的な設備投資が続き、電子線照射装置やファインコーティングサービスの需要も堅調に推移しております。装置部品ソリューション事業分野では、日本での“ものづくり力”をタイ・ベトナム・ミャンマーで展開し品質を向上させながら、海外拠点での現地パートナーに対する協業先の海外進出支援を行っております。

このような事業環境の中、2024年度は、中期経営計画「VISION2025」の「日新一新<sup>(\*)1</sup>」「変化への適応・変化の創造」の方針の下、「①環境配慮製品の拡大、②分散型エネルギー対応、③再生可能エネルギー対応、④DXの製品・事業への適用、⑤新興国環境対応需要の捕捉、⑥EV拡大に伴う事業拡大」の6つの成長戦略を住友電気工業株式会社と一体となり、その成果の刈り取りに向けた取組みを加速させる年度となります。

電力・環境システム事業分野では、以前から展開している「SPSS<sup>(\*)2</sup>（Smart Power Supply Systems）」で電気を創る・貯める・賢く使うためのエネルギーマネジメントシステムに加え、環境にやさしい受変電設備「ECSS<sup>(\*)3</sup>（Environment & Compact SubStation）」を含めたソリューション提案により、顧客要望の実現に取り組んでいます。

また、ビーム・プラズマ事業分野では、需要急拡大が期待されるSiCパワー半導体用イオン注入装置、半導体材料改質の量産装置に加え、物質の改質・品質向上、滅菌などを行うコンパクトでメンテナンス性が向上した電子線照射装置など顧客ニーズに対応した各種製品をラインアップしており、さらなる開発に取り組んでいます。

本号では、特集「環境配慮製品」に加え、一般論文「新型蓄電池用パワーコンディショナの開発」、「新型電子線照射装置EB-XWの開発」をそれぞれ掲載しております。是非ともご高覧賜り、ご意見・ご指導を頂戴できれば幸甚に存じます。最後になりましたが、ステークホルダー各位のますますのご繁栄をお祈りし、巻頭の挨拶とさせていただきます。

(\*1) 「日新一新」は日新電機株の登録商標です。

(\*2) 「SPSS」は日新電機株の登録商標です。

(\*3) 「ECSS」は日新電機株の登録商標です。